

記録を残すという営みを、記録が残らないごと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30～50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。

木村の鉢

阿佐ヶ谷駅前

カブの
リッド開
影)でし
さい。

商店街改築のための商店街視察。コンクリート造の若松商店街は当時としては珍しかったと推測される。撮影者は40歳代。提供者（撮影者の息子）曰く、「家業を継ぐのは当たり前前時代。オリンピックの前に道幅拡張工事で商店街全体がセットバックした。環七の道路の真ん中あたりに当時の店は建っていました」。

(3) 36 歲 世田谷區石臼王

